

—— 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。——

使用上の注意改訂のお知らせ

生物由来製品

処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

血液凝固阻止剤

ヘパリンNa透析用150単位/mL「フソー」20mL

ヘパリンNa透析用200単位/mL「フソー」20mL

ヘパリンNa透析用250単位/mL「フソー」20mL

ヘパリンNa透析用150単位/mLシリンジ20mL「フソー」

ヘパリンNa透析用200単位/mLシリンジ20mL「フソー」

ヘパリンNa透析用250単位/mLシリンジ20mL「フソー」

ヘパリンNa透析用350単位/mLシリンジ20mL「フソー」

このたび下記の血液凝固阻止剤 ヘパリンナトリウム製剤につきまして、自主改訂に基づき、**使用上の注意**を下記のとおり改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。

平成28年1月



扶桑薬品工業株式会社

大阪市城東区森之宮二丁目3番11号

記

該当製品名	規格	成分名
ヘパリンNa透析用150単位/mL「フソー」20mL ヘパリンNa透析用200単位/mL「フソー」20mL ヘパリンNa透析用250単位/mL「フソー」20mL	20mL (スノーブル)	ヘパリンナトリウム
ヘパリンNa透析用150単位/mLシリンジ20mL「フソー」 ヘパリンNa透析用200単位/mLシリンジ20mL「フソー」 ヘパリンNa透析用250単位/mLシリンジ20mL「フソー」 ヘパリンNa透析用350単位/mLシリンジ20mL「フソー」	20mL (シリンジ)	

1. 改訂箇所

下記の下線部のとおり、[相互作用（併用注意）]の項及び[副作用（重大な副作用）]の項を改訂しました。

2. 改訂内容（自主改訂）

改 訂 後			改 訂 前														
2. 相互作用 併用注意 （併用に注意すること）			2. 相互作用 併用注意 （併用に注意すること）														
<table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>筋弛緩回復剤 スガマデクス ナトリウム</td><td>本剤の抗凝固作用が増強される おそれがあるので、患者の状態を観察するとともに血液凝固に関する検査値に注意すること。</td><td>作用機序は不明であるが、スガマデクスナトリウム 4mg/kg と抗凝固剤の併用中に活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT) 又はプロトロンビン時間 (PT) の軽度で一過性の延長が認められている。</td></tr></tbody></table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	筋弛緩回復剤 スガマデクス ナトリウム	本剤の抗凝固作用が増強される おそれがあるので、患者の状態を観察するとともに血液凝固に関する検査値に注意すること。	作用機序は不明であるが、スガマデクスナトリウム 4mg/kg と抗凝固剤の併用中に活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT) 又はプロトロンビン時間 (PT) の軽度で一過性の延長が認められている。	<table border="1"><thead><tr><th>薬剤名等</th><th>臨床症状・措置方法</th><th>機序・危険因子</th></tr></thead><tbody><tr><td>筋弛緩回復剤 スガマデクス ナトリウム</td><td>本剤の抗凝固作用が増強される おそれがあるので、患者の状態を観察するとともに血液凝固に関する検査値に注意すること。</td><td>作用機序は不明であるが、スガマデクスナトリウム 4mg/kg と抗凝固剤の併用中に活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT) 又はプロトロンビン時間 (PT) の軽度で一過性の延長が認められている。</td></tr></tbody></table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	筋弛緩回復剤 スガマデクス ナトリウム	本剤の抗凝固作用が増強される おそれがあるので、患者の状態を観察するとともに血液凝固に関する検査値に注意すること。	作用機序は不明であるが、スガマデクスナトリウム 4mg/kg と抗凝固剤の併用中に活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT) 又はプロトロンビン時間 (PT) の軽度で一過性の延長が認められている。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子															
筋弛緩回復剤 スガマデクス ナトリウム	本剤の抗凝固作用が増強される おそれがあるので、患者の状態を観察するとともに血液凝固に関する検査値に注意すること。	作用機序は不明であるが、スガマデクスナトリウム 4mg/kg と抗凝固剤の併用中に活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT) 又はプロトロンビン時間 (PT) の軽度で一過性の延長が認められている。															
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子															
筋弛緩回復剤 スガマデクス ナトリウム	本剤の抗凝固作用が増強される おそれがあるので、患者の状態を観察するとともに血液凝固に関する検査値に注意すること。	作用機序は不明であるが、スガマデクスナトリウム 4mg/kg と抗凝固剤の併用中に活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT) 又はプロトロンビン時間 (PT) の軽度で一過性の延長が認められている。															

3. 副作用

(1) 重大な副作用

- 1) ショック、アナフィラキシー：ショック、アナフィラキシーが起こることがあるので、観察を十分に行い、血圧低下、意識低下、呼吸困難、チアノーゼ、蕁麻疹等の異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(1) 重大な副作用

- 1) ショック、アナフィラキシー様症状：ショック、アナフィラキシー様症状が起こることがあるので、観察を十分に行い、血圧低下、意識低下、呼吸困難、チアノーゼ、蕁麻疹等の異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

（_____部：改訂箇所、_____部：削除箇所）

3. 改訂理由（自主改訂）

- 「併用注意」に、相互作用相手薬記載との整合をとるため、筋弛緩回復剤 スガマデクスナトリウム に関する記載を追記しました。
- 「重大な副作用」に記載の「アナフィラキシー様症状」について、最新の知見に基づき、「アナフィラキシー」に記載整備しました。

（参考） 医薬品・医療機器等安全性情報 No. 299 (2013. 2) P. 21-23

4. 本情報はD S U（医薬品安全対策情報）No. 246（平成 28 年 2 月初旬発送予定）に掲載されます。

☆添付文書情報は、「医薬品医療機器総合機構ホームページ（URL：<http://www.pmda.go.jp/>）及び弊社ホームページ（URL：<http://www.fuso-pharm.co.jp/>）」においてご確認いただけます。